

You Can Do, 笑顔&挨拶・凜とした高校生!

令和元年 8 月 22 日
第 2 学期 始業式より

●夏休みが明けて

1 学期の終業式での話

まず手の届く目標を立てて、ひとつひとつクリアしていく。

そうすると、はじめは手が届かなかったと思っていた夢も、
やがて一つの目標となり、手が届くようになる。

小さな一歩から始めて、自己ベストな夏を過ごしてください。

毎日のように、学校の講習に通った人、家で、図書館で、頑張った人、
結果を焦らないでいいよ。夏の成果が出るのはこれから。
クラブの大会や発表会でも、精一杯の頑張りを見せてくれた。
これから試合というクラブもある。頑張れ。

●ジャーニー喜多川さんの言葉

7 月、ジャーニーズ事務所社長のジャーニー喜多川さんが亡くなりました。

アメリカでも生活した経験のあるジャーニーさん語録の中に、

「You が can と思うなら Do すればいいじゃない！」とある。

シンプルで、前向きで、背中を押してくれる言葉ですね。

このような いささか乱暴な言い回しをされますが、

取材への対応はすごく丁寧で、折り目正しい日本語できっちり答えられたらしい。

あるとき「ジャーニーズらしさとは何ですか？」と尋ねられると、「**品のよさ**」と答えられた。

“品”、**「自然と外にあらわれる、洗練された雰囲気・たたずまい」**

これもいいなあ。

自分も昔、担任を持ったとき、クラスのモットーを「上品な明るさ」としていた。

皆さんも、「**品のよい、明るい高校生**」であってください。

●「凜とした、笑顔で挨拶のできる高校生」

① **「凜とした」**とは、態度が引き締まっていて、しっかりしているという意味。

② **「笑顔」** 笑顔は、人を惹きつけますね。

ゴルフの全英女子オープンで優勝した 20 歳の渋野日向子さん。

プレー中にも笑顔を見せ、移動の際にはファンとハイタッチ。

多くの人を魅了して、「**スマイリング・シンデレラ**」と呼ばれました。

「イライラした感情を表に出すとスコアが乱れるので、笑っていなさいと言われて、

そのようにしていた「作り笑顔」でした」と本人が笑って言っていました、

笑顔は世界共通です。

③ **「挨拶」** 挨拶は、やはり人間関係の基本。

笑福亭鶴瓶さん、いつもニコニコして、スッ〜と人の懐に入って行く達人。

「誰からも好かれる術を笑福亭鶴瓶に学ぶ」という、心理学の本もあるらしい。

その鶴瓶さん、以前、A-studioという番組で、こう言っていました。

「いかにちゃんと挨拶するかが大事で、もうそれだけでええんよ、それだけで」と。

人と人の一番基本的な関係は、“私とあなた”という関係。

それが、顔を合わせても挨拶しない、会釈もしないというのでは、

“私とあなた”という関係ではなく、

“どこの誰でもよいだれかと、どこの誰でもよい誰か”という、冷たい関係になってしまう。

皆さんのことを、どこの誰でもよい誰かとは思っていません。

照れくさいのかもしれませんが、

**「おはようございます」「こんにちは」などの言葉が自然に出てくるように、
普段から、挨拶することを意識的に心がけてほしい。**

● さあ、2学期

2学期は、文化祭から始まって、**実りの秋へ**と続きます。

小さな一歩は、いつ踏み出しても構いません。

迷ったときは、**「You が can と思うなら Do すればいい」**

皆さんが**「笑顔で挨拶のできる、凛とした高校生」**として、

この夏から秋にかけて、**スーパーファイト**を見せてくれることを期待して、

2学期始業式の言葉とします。

頑張り！ さつき生